

特集  
II

# 子どものこれからを、 育む。

子どもの健全育成に貢献する取組み

## 「子どもの明日 応援プロジェクト」がめざすこと

明治安田生命が取り組んできた、子どもの健全育成への貢献活動は、2012年度に5年目を迎えたことをふまえ、活動の総称を「子どもの明日 応援プロジェクト」と定めました。この節目にあたり、「民間の支える公益」を提唱する日本フィナンソロピー協会の高橋陽子理事長と、「子どもの明日 応援プロジェクト」を統括している当社の担当者が、これまでの活動を振り返りながら、今後のめざすべき姿を共有しました。(文中敬称略)

きっかけは「家族を思う気持ち」から

公益社団法人  
日本フィナンソロピー協会

高橋 陽子 理事長

**平井** 生命保険には、家族を守り支えたい、子どもに健やかに育ってほしい、などご家族への思いがこめられています。そのなかで、未来を担う子どもたちへの支援に力を入れようと、「子どもの明日 応援プロジェクト」をスタートしました。当社の取組みについて、第三者の視点から、率直なご意見やご感想を伺えればと思います。

**高橋** サステイナブルな社会をめざすうえで、大きなテーマが2つあります。「地球環境を守ること」と「次の世代へ引き継ぐこと」。子どもの明日を応援することは、このテーマにも生命保険事業にも沿っていて、非常にいい取組みですね。貴社とはいくつかの活動で一緒にしていますが、みなさん、実直に取り組んでいらっしゃるように感じます。

## 日本フィナンソロピー協会

一人ひとりの善意や企業の社会責任をカタチにする行動を支援し、心温かく自由闊達な社会をめざす公益社団法人。企業の社会貢献活動・CSRの推進や個人の寄付活動・ボランティア活動を支援し、行政・企業・NPOの橋渡しと連携をすすめています。

子どもたちに気付きや感動を与える体験を

**平井** 子どもたちがさまざまな体験をすることで、新しい「気付き」や「感動」を感じてくれることは、私たちにとっても喜びです。たとえば「ふれあいコンサート」では、障がいを持った子どもたちが本当にいきいきと楽しんでくれました。それを見た親御さんや先生たちが喜んでくれて、私たちも嬉しくなる。感動の輪が広がっていくのです。

**高橋** それは嬉しいことです。ボランティア活動は組織を活性化し、社会のためだけではなく、会社のためにもなるといわれています。企業が行なう貢献活動は、多くの人や資金が動くため、社会への影響力が大きい。ぜひ継続していただきたいと思います。

人の役に立つことが生きる意欲につながる

**平井** 今、行なっている活動をよりよいものへと発展させるには、どのようなことを考えたらよいでしょうか。

**高橋** 子どもたちが「人のために何かしたい」という気持ちになる取組みができるといいですね。人の役に立つことで、自分の存在を実感し、生きる意欲へとつながっていきます。生命保険の互助の精神も、「人のために」という点で同じですね。貴社の活動が、子どもたちの優しい気持ちを引き出すきっかけになることを期待しています。

**平井** 心がけたいと思います。海岸清掃の際、ゴミを食べて死んでしまう生物がいることを教えると、聞いた子どもたちは翌日、友だちに話して回るそうです。大切なことを伝えなければ、と思うのですね。

子どもたちが自ら「人のために」「環境のために」と思うようになる取組みをめざしていきます。本日は、大変勉強になるご意見をありがとうございました。

広報部 審議役  
(社会貢献活動推進)

平井 昭



## ④ 「子どもの明日 応援プロジェクト」とは?

私たちは、地域・社会貢献活動に継続的に取り組むなか、特に2008年度からは、「子どもの健全育成への貢献」をCSR・社会貢献活動の重点分野と位置づけ、さまざまな活動を全国で実施してまいりました。

## 「子どもの明日 応援プロジェクト」の活動概要

大学・高校 専門学校生等						
中学生	子どもの命・安全を 守る! 地域貢献活動 地域安全マップづくり 黄色いワッペン贈呈	ふれあい コンサート	未来を 奏でる 教室	海の環境 工作教室	あしなが チャリティー & ウォーク	全国の 支社・営業所 法人部 本社各部 関連会社の 地域貢献 活動
小学生						
就学前 出産前	助産師育成支援 Hello Baby 奨学金プログラム					
		子どもの命・ 安全を守る	音楽を通じた 情操教育	環境意識の 醸成	遺児の 進学支援	その他各種の 支援

## 「子どもの明日応援プロジェクト」がめざすこと

1

### 東日本大震災被災地の子ども支援

#### 「あしながチャリティー&ウォーク2012」による震災遺児支援

「あしながチャリティー&ウォーク」は、親をなくした子どもたちの進学と心のケア支援のため、役員・従業員が全国各地でボランティア・ウォークとチャリティー募金を行なう活動です。あしなが育英会のご協力のもと当社独自の取組みとして拡大展開した2011年度は、ウォーキングと募金全体で31,412人が参加し、あしなが育英会に1,226万円の寄付を行ないました。2012年度も9~12月の休日を利用して、全国各地で約1万人がウォーキングを行なうとともに、当日ウォーキングに参加できなかった募金参加者を含め、総勢3万人を超える役員・従業員等\*がこの活動に参加し、東日本大震災・津波遺児支援に取り組むこととしています。



▲あしながMYウォークの様子

\*この活動には、東京海上日動火災保険株式会社のみなさま(約1千人)をはじめ、活動趣旨に賛同いただいた社外の方(当社従業員の家族、知人・友人など)にも参加いただいているます。

#### 全国各地で ウォーキングを実施 (2012年9~12月予定)



#### あしなが育英会役員の声

あしなが育英会 理事 岡崎 祐吉 氏

私たちあしなが育英会と遺児学生らで組織するあしながPウォーク10実行委員会は、遺児支援活動として、毎秋、全国47都道府県でP(フィランソロピー(社会貢献)の頭文字)ウォークを行なっています。

現在、東日本大震災で親をなくした遺児たちの心のケアのために「東北レインボーハウス」建設をめざしており、貴社が独自に全国各地で実施いただいた「あしながMYウォーク」と、みなさんに参加いただいた「あしながPウォーク10」は、東北レインボーハウス建設と国内外遺児の進学に大きな力をいただきました。多くの方々のやさしさと行動力で遺児たちが心癒され、自立に向けて前に進んでいくためには、継続的な応援が必要です。

未来を背負う子どもたちのためにこれからも力を貸していただき、一緒に歩ませていただければ幸いです。



#### ふくしまキッズプログラム「ぽんた山元気楽校」への参加による福島県の子ども支援

「ぽんた山元気楽校」(NPOあぶくまエヌエスネット主催)は、「原発事故の影響で屋外活動が制限されている福島県の子どもたちを放射線量の低いあぶくま山系の鮫川村に招き、思いきり外遊びをさせてあげよう」という活動です。

当社では、この趣旨に賛同し社内ボランティアを募った結果、2012年6月から2013年2月の各週末(計12週)、全国から従業員が鮫川村に赴き、活動のお手伝いをしています。

この取組みは、被災地支援のひとつとして今後も継続的に推進してまいります。



▲ぽんた山元気楽校の様子

#### 主催団体代表者の声

NPO法人 あぶくまエヌエスネット 理事長 進士 徹 氏

子どもたちからは「ふだん外遊びを制限されているので、ぽんた山の活動が楽しみ」という声や、親御さんたちからは「原発事故のこと早く忘れないと思っていましたが、この活動に参加して、私自身がもっと前を向いて強く生きようと思うようになりました」などの感想がたくさん寄せられています。

毎回の活動に、明治安田生命さんからボランティア支援をいただき、心より感謝しています。貴社の皆さまから「来て良かった」と言われることも、活動の励みとなっています。皆さまのご協力のおかげで、子どもたちは笑顔と元気を取り戻しています。これから福島を創る子どもたちが、心豊かに成長するよう、長く活動を続けていきたいと思います。



#### 参加した従業員の声

名古屋南支社 常滑営業所長 中道 俊治

参加させていただくまでは、子どもたちのことが心配で、被災後転居、転校、親の転職などで元気をなくしているんだろうなと思っていた。しかし、そんな心配は全く無用でした。あのパワーはどこから生まれてくるのだろうと思うくらい、私は子どもの後ろについていくだけで精一杯でした…

今回は1泊2日の短い時間で、何が貢献できたのか申し訳ない気持ちです。きっと5年10年先にこの子たちが福島復興の中心となって頑張ってくれるんだろうと思いました。

これから福島に限らず日本の将来のために、子どもたちに私たち大人はしっかりと目を向けて、全力で応援する義務があると思います。福島に限らず、被災地の復興に向けてできることはしっかり支援をしていきたいと思います。

#### プレイメーカー・プロジェクト (明治安田こころの健康財団)

東日本大震災でここに傷を負った子どものケアのために

「遊び」を通じて、深刻なトラウマ(精神的外傷)を受けた子どもたちに癒しと力を与え、情緒の安定を図る「プレイメーカー・プロジェクト」の講師招聘に協力。東日本大震災被災地の陸前高田市と気仙沼市の子どもたちにプログラムを実践しました。



# 子どものこれからを、育む。

子どもの健全育成に貢献する取組み

## 「子どもの明日応援プロジェクト」がめざすこと

2

### 従来からの継続的な取組み

#### 子どもの命・安全を守る

##### 助産師育成支援「Hello! Baby奨学金プログラム」

少子化が進むなか、より安心で安全なお産ができる環境づくりに貢献したいと願い、産科医療スタッフとして重要な役割を担う「助産師」の育成をめざす取組み（「Hello! Baby奨学金プログラム」）を実施しています。

このプログラムは、日本助産師会のご協力のもと、当社のこども保険の保有契約件数に応じた金額を毎年、助産師をめざす学生に奨学金として寄贈するもので、2012年6月には14人の学生に奨学金（年額32万円）をおくりました。

#### 地域安全マップづくり教室

子どもたちを犯罪から守るためにには、地域の大人たちが安全・安心な環境をつくるだけでなく、子どもたち自身が「自ら危険を回避する力」を身に付けることが重要です。こうした考え方から、「地域安全マップづくり教室」を毎年開催しています。

この教室では、フィールドワーク・マップづくりという体験学習を通じ、子どもたちが「危険な場所」が見分けられるようになることをめざしています。

2012年度は、10月までにさいたま市、成田市、富山市、横浜市など6カ所で開催しました。



▲マップづくりに取り組む子どもたち



▲日本助産師会 岡本会長（左）に寄付金を贈呈

##### 「子どもの命・安全を守る」地域貢献活動

当社のMYライフプランアドバイザーは、地域で営業活動をする際に「ネームタグ（防犯プレート）」を携行して地域防犯への意識を高めています。また、不測の事態に備えて「防犯笛」を携行するとともに、危険を察知した場合などにはただちに地域行政や近隣へ情報を伝達して連携できる態勢をとっています。



##### 「黄色いワッペン」の贈呈

毎年、小学校へ入学する新一年生の交通安全を願って、「黄色いワッペン」を贈呈しています。1965年の第1回以来の贈呈累計枚数は約5,886万枚となりました。

共同実施団体：(株)みずほフィナンシャルグループ、  
(株)損害保険ジャパン、第一生命保険(株)



▲マップづくりに取り組む子どもたち

#### 音楽を通じた情操教育

##### ふれあいコンサート

日頃コンサートに行く機会の少ない障がいのある子どもたちに、歌手の鳥塚しげきさん（ザ・ワイルドワンズ）が「生の音楽」を届ける「ふれあいコンサート」を毎年開催しています。



▲ふれあいコンサートの様子

2012年度は、東日本大震災で被災した東北3県の特別支援学校5校で開催しました。

#### 未来を奏でる教室

「愛と平和のチャリティーコンサート」と連動し、開催地近郊の小・中学校で、作曲家の三枝成彰氏による音楽授業「未来を奏でる教室」を毎年開催しています。子どもたちの音楽への興味・関心

を呼び起こす授業を、2012年度は奈良市、宇都宮市などの5校で開催しました。



▲小学校体育館での音楽授業の様子

#### 環境意識の醸成

##### 海の環境工作教室

従業員と家族、地域の方々が海岸清掃を行ない、収集した貝殻やゴミなどの漂着物等を使ってアート作品を制作する「海の環境工作教室」を毎年開催しています。2012年度は、新潟市、愛知県蒲郡市など、全国4カ所の海岸で実施しました。



▲拾ったゴミや貝殻などで工作する子どもたち



▲拾ったゴミや貝殻などで工作する子どもたち

#### 地域への貢献

全国の支社・営業所等、各所属でも、子どもの健全育成に向けた活動を実施しています。

具体的には、「読み終えた絵本・児童書の収集・寄贈」、「難病の子どもたちとその保護者への支援」、「学用品のリサイクル」、「絵本の読み聞かせ」、「スポーツ教室」等、地域のNPOや自治体等と連携した、さまざまな活動があります。



▲児童施設等に寄贈した絵本



▲フラッグフットボール教室の様子